

ななむら

第95号

発行：照来地区公民館

責任者：館長

☎ 92-1738

令和5年5月1日現在

世帯数 519世帯

人口 1,397人

(男650人、女747人)

「照来地区公民館推進委員会」を開催！

4月25日（火）に「照来地区公民館推進委員会」を開催し、主に令和5年度の年間事業計画や事業推進に関する事項を協議していただきました。令和5年度は、下記の推進委員さんにお世話になりながら、事業を推進していきます。照来地区の皆さまのご協力をお願いいたします。

令和5年度事業計画

- 毎月定期的に行う事業
 - メディカルヨガ教室
毎月第3火曜日
- 6月 カメラ講座
野菜づくり講座
- 7月 カメラ講座
防犯教室
- 8月 星空観望会
ビーチコーミング
- 9月 健康講座
- 10月 料理教室
- 11月 作品展覧会（小さな文化祭）
[18日（土）～19日（日）]
- 12月 税務・人権研修
- 3月 野菜づくり講座
- その他共催事業
 - ぐるっと照来！スタンプラリー
10月9日（月）開催予定

変更することがあります

令和5年度照来地区公民館推進委員

選出区分	役職	氏名
切畑区	区長	岩垣 廣一
多子区	区長	中井 孝吉
桐岡区	区長	坂出 裕史
丹土区	区長	杉岡 富之
中辻区	区長	西澤 章
塩山区	区長	山本 学
飯野区	区長	中井 正
照来まちづくり協議会	会長	坂本 明
スポーツクラブ21照来	会長	阪本 善行
青少年育成推進協議会	会長	野田 章仁
防犯協会照来支部	支部長	坂出 裕史
照来地区すこやかクラブ	会長	長谷坂 盛之
婦人会	代表	中井 真奈美
照来小学校	校長	西岡 教敬
照来小学校PTA	会長	山本 慎一
照来校同窓会	会長	坂本 明
照来小学校運営協議会	会長	坂本 明
切畑区推薦	協力委員	倉田 堅司
多子区推薦	協力委員	宮脇 毅
桐岡区推薦	協力委員	長谷坂 繁恭
丹土区推薦	協力委員	小谷 豊
中辻区推薦	協力委員	大森 晴光
塩山区推薦	協力委員	野田 幸雄
飯野区推薦	協力委員	村尾 諭
照来地区公民館	館長	山本 清孝

『シャスタデージー』？

皆さん、今、照来地区公民館の横に咲いている白い花の名前をご存知ですか？

私は、ずっと「マーガレット」だと思っていましたが、念のため調べてみました。すると「シャスタデージー」ではないかと思えます。（間違っていたらごめんなさい）

シャスタデージーは、マーガレットに似た花で、純白な花びらがアメリカのカリフォルニア州にあるシャスタ山という雪山を連想させるところから名付けられたようです。

耐寒性の植物で、真冬でも常緑を保ちながら丈夫に育つことから「忍耐」という花言葉が付いたそうです。



『照来地区まちづくり協議会』総会が開催されました!

5月17日(水) 照来地区公民館におきまして、「照来地区まちづくり協議会」の総会が開催され、令和4年度の事業報告・決算、そして、令和5度の事業計画・予算が承認されました。

この協議会の主な事業は「照来地区敬老会」ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度を最後に昨年度まで開催していませんでした。

しかし、今年度は、新型コロナも5類に移行されたこともあり、9月18日(月)に開催することで確認しました。

ちなみに、照来7集落の敬老会員(75歳以上)は、4月1日現在365人だそうです。



新型コロナウイルス感染症5類に移行!

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置付けは、2類相当でしたが5月8日から季節性インフルエンザ等と同じ5類に移行されました。下表は、厚生労働省が発表した変更ポイントです。

主な変更点	5月7日まで(2類相当)	5月8日以降(5類感染症)
発生動向	・法律に基づく届出等から、患者数や死亡者数の総数を毎日把握・公表	・定点医療機関から報告に基づき、毎週月曜日から日曜日までの患者数を公表
医療体制	・入院措置等、行政の強い関与 ・限られた医療機関による特別な対応	・幅広い医療機関による自律的な通常の対応 ・新たな医療機関に参画を促す
患者対応	・行政による患者の入院措置、勧告や外出自粛要請 ・入院、外来医療費の自己負担分を公費支援	・一律に外出自粛要請はせず ・医療費の1割~3割を自己負担(一部軽減あり)
感染対策	・行政が様々な要請、関与をしていく仕組み ・基本的対処方針やガイドラインによる感染対策	・個人や事業者の判断に委ねる ・基本的対処方針等は廃止
ワクチン	・予防接種法に基づき、特例臨時接種として自己負担なく接種	・令和5年度においても、引き続き自己負担なく接種

照来の歴史(49) 『相撲取塚』

新温泉町内には、力士を顕彰する「相撲取塚」が20箇所に点在しており、温泉地域に7基、浜坂地域に13基あると言われています。(浜坂地域は飯野に1基移設したため現在12基)

その内の一つが、飯野「巖山寺」北側にあります。令和2年7月22日発行の照来地区公民館だより(第61号)で紹介した、丹土出身の力士「岩石」の相撲取塚です。ただ、元々この場所にあったものではなく、旧浜坂町三谷マンガ崎妙見山の麓にあったものを昭和53年に移設されたものです。

この石碑には、「岩石七之助塚、丹土邑産、文政三年辰六月二十七日、施主、飛鳥野勇七」と記されています。(写真右)

施主の「飛鳥野勇七」は、浜坂の力士であり江戸時代中期に寺社の修繕などを目的とした興業相撲に江戸の力士たちを集めたとされる人物です。そして、岩石がわけあって江戸から帰り、地方力士の指導に当たっていた頃に仮住まいしていた家の当主でもあります。(左写真は三谷の踏切にある飛鳥野勇七塚)

郷土史家によれば、こうした「相撲取塚」は「悪霊や疫病を防ぐ目的で建てられた可能性もある。」と推測しています。



『岩石七之助』(丹土史)

「岩石は、宝暦年代に生まれ、姓は中村、名は七之助といい、怪力の持ち主で自ら力士を志したか或いは誰かの勧めによったのか江戸に出て力士となり、力士名(しこ名)を岩石、名を七之助と名乗る。三丹地方では江戸の力士として有名であった。その後、事情があって浜坂で力士の指導に当たった。」とあります。

